

科目名	化学英語 C	英語科目名	English for Chemistry C	
開講年度・学期	平成23年度・前期	対象学科・専攻・学年	物質工学科5年	
授業形態	講義	必修 or 選択	選択	
単位数	1単位	単位種類	学修単位(30+15)h	
担当教員	田中孝国	居室(もしくは所属)	電物棟3F	
電話	0285-20-2804	E-mail	tanakatakakuni@oyama-ct.ac.jp	
授業の達成目標	授業達成目標との対応			
	小山高専の教育方針	学習・教育目標(JABEE)	JABEE 基準要件	
1. 発音記号を見て英語の発音がわかること。	⑥	D - 1 E - 1	a) (b) (d(2)) (f) (g)	
2. 英語のスペルを見て正しい発音ができること。				
3. 可算名詞と不可算名詞が区別できること。				
4. 品詞の区別ができ、日本語訳もそれに応じてできること。				
5. 主語と述語が分かり、日本語訳もそれに応じてできること。				
6. 自動詞、他動詞の区別が付き、日本語訳もそれに応じてできること。				
各達成目標に対する達成度の具体的な評価方法				
達成目標1～5に対しては中間、期末試験の関連問題および課題の60%以上の成績で達成とする。				
達成目標6～9に対しては期末試験の関連問題および課題の60%以上の成績で達成とする。				
評価方法				
課題40%、試験60%(中間と期末の合計)の加重平均で算出する。				
授業内容	授業内容に対する自学自習項目		自学自習時間	
1. 単語テスト(1週)	単語調べ、訳文の作成、小		7	
2. テキスト問題番号1 (Matter)～12 (Sea water) (6週)	テストのための学習			
前期中間試験			8	
3. テキスト問題番号13 (Atoms)～33 (Proteins) (7週)	単語調べ、訳文の作成、小 テストのための学習			
前期期末試験				
			自学自習時間合計	15
キーワード	化学英語、発音記号、品詞、主語、述語			
教科書	やさしい化学英語、オーム社、2003			
参考書	1. エッセンシャル化学辞典、東京化学同人、1999 2. 化学英語の活用辞典、化学同人、1999			
カリキュラム中の位置づけ				
前年度までの関連科目	英語I			
現学年の関連科目	英語II、卒業研究			
次年度以降の関連科目	物質工学専攻：ゼミナールI, II, III			
連絡事項				
課題は確実にを行うこと。理解が困難な場合は、その都度相談に応じる。				
シラバス作成年月日	平成23年2月13日			